



# 音楽運動



日本音楽協会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之  
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <https://nichionkyou.org> Email [nichion@yomogi.or.jp](mailto:nichion@yomogi.or.jp)

## 連合中央メーデーで演奏

メーデー中央大会は、昨年から会場の真ん中にステージを設置するようになったのですが、昨年のオープニングは、元のステージがあった場所をカメラマン席用に小さくしたお立ち台のような場所での演奏でした。それではあまりにも可哀想と思ったださる方が連合の中にいたのかどうかは定かではありませんが、今年は真ん中のステージで演奏することになりました。そして当日、メーデー合唱団員は、360度から視線を浴びるステージに緊張しながら登壇したのでした。



スウィングセピアは、ステージ直下の一角を占め、それはそれで見栄えのする光景の中、『東京ブギウギ』の序奏でオープニングがスタートしました。軽快なジャズのリズムに良い感じに緊張がほぐれたところで、合唱のスタート。まずは、定番の『晴れた5月』を、雨雲を吹き飛ばす勢いで歌いました。そして今年のステージのために選曲した『新しい花を求めて』（詩・イシノ・ガルシア、作曲・ミゲル・ポルセル）を朗々と歌い上げ、もう一曲の選曲『ぞ』（詩・曲・大沢隆男）を歌い終わると、いつの間にか顔を向け真剣に耳を傾ける参加者の多さに驚きました。力強い森さんの指揮と高野ゆり子さんの伴奏が際立ったこともさることながら、歌の持つ力が参加者を振り向かせたのだと実感。終曲は定番の『連合歌』をスウィングセピアの伴奏で歌い、メーデー合唱団全員笑顔でステージを降りました。

第90回メーデー中央大会は雨雲を気にしながらの開催でしたが、会場の中心から音楽の力で会場を明るくさせることができました、と自負しているのは私だけではないと思います。

(坂口美日)

## テント前コンサート風景

### 立ち止まり、口ずさむ参加者

早朝の代々木公園、明け方までの雨はかろうじて上がっていたが、テントの前には大きな水たまり。公園事務所から竹箒を借りて水を掃いていたら、手際の悪さを見かねて、公園清掃の方が手伝って下さった。

地面の湿り気も気にならなくなった頃、テント前コンサートは開幕。中央集会が予定より10分も早く終わってしまい、参加者がどんどん帰って行く。こちらでも時間を前倒ししての開始となった。

オープニングは『メーデー合唱団』。青いTシャツがずらりと並びと迫力がある。続いて『フジミグループ』がカントリーと地元での区議選での応援歌を演奏した。その歌に推された候補者が見事当選。今日はフジミグループの演奏を応援するため、テント前に足を運んでくださった。そして男声合唱『メイウインズ』の安定したハーモニーや、今や常連となったうたごえ協議会の『大熊啓』さんのパワある平和の歌。



合唱団ミール



フジミグループ



ういみん



シングアウト

スピーカーが不調になり、シングアウトを挟んでいる間に、音響を担う岩野さんと天羽さんが手早く整えていた。

演奏は続く。毎年千葉から参加している『合唱団ミール』。『狭石啓子』は、今年は岩野さんが伴奏。『あんくるん』は赤羽さんが体調不良でお休みで、船山・森のふたりでの演奏。トリを飾った『ういみん』の『戦争はさせない』は練れてきた感がある。今年もテント前に立ち止まる人が多い。シングアウトの時には配られた歌集を見ながら一緒に口ずさんでいる姿も多く見られた。ベビーカーの上で、小さな子が歌に合わせて手を叩き、体を揺すっている。嬉しいなあ。大きくなったら日音協に入ってくれないかな。

打ち上げには栃木のメーデーを終えた松本会長も駆けつけた。店は例年お邪魔する中華屋さん。飲み放題つき3000円で、お料理もたくさん！これも毎年の楽しみなのです。

(東京都支部 森理子)

# 沖縄から



福島と絆を結ぶ3・11オキナワ平和ライブ

仲間の皆様いつも沖縄に思いをはせて頂きニフェーデービル。

琉球王国は、1609年に薩摩藩が侵攻、明治になり廃琉置県で沖縄県となりました。沖縄にとって昭和は、人間が人間でなくなる悲惨な沖縄戦、戦後の米軍による人権侵害、それが島ぐるみ闘争に発展。1972年に沖縄が願った本土復帰したものの、平和憲法が沖縄には適用されず、日本の70%の米軍基地が残りました。平成となっても状況は変わりませんでした。県民は変わりました。基地押し付けは日本による沖縄への構造的差別であると分かり、「イデオロギーよりアイデンティティー」と県民の心がひとつになりました。しかし、安倍政権は県民投票で明らかになった辺野古新基地建設反対の民意を無視し、国家権力総がかりで辺野古新基地建設を強行しています。

天皇に複雑な感情を持つ沖縄県民、天皇を政治利用する安倍政権、民主主義を蔑ろにする安倍政権を支持する大和民族は、新元号「令和」に浮かれています。恒例の沖音協合宿を4/28~29の日程で行い、これら情勢の確認、組合の運動強化、「はたらくものの音楽祭」のあり方についての意見交換、そしてギター教室を行いました。

活動をしなければ、新しい仲間も増やすことは出来ません。今年も5月17日~19日に沖縄平和行進が行われます。7月の参議院選挙は日本の進路を決める大切な選挙、はたらくものの力で野党勢力の結集を図り、多様性が尊重される社会を目指し、ともにちばらなやーさい。(平良昌史)



沖音協合宿

# 香川・憲法集会で演奏

5月3日、平和憲法を生かす香川県民の会総会・講演会後のピースウォーク出迎え合唱隊です。

三越前を通る人、足を止めて聞いてくれる人もいて拍手もいただきました。デモ行進の先頭が到着した時に「私は忘れない」を歌って、うたごえのまとめとしました。主催者の代表の一員の女性の方から「死んだ男の残したものは」のリクエストもありました。同時に、このような歌をうたえることが武器になるとも言っていました。

高松へ行く途中でギターを忘れたことに気付いて取りに帰り、少し落ち込んでいましたが、帰りはいい気分でした。(三好康夫/細川 剛)



## 復帰47年(第42回)5・15平和行進

日音協は、今年も5・15沖縄平和行進に参加します。日音協の行動に参加したい方は、日音協にお申し込みください。

インターネットメール [nichion@yomogi.or.jp](mailto:nichion@yomogi.or.jp)  
ファックス 03-6369-3057

5月16日(木) 17時30分那覇市役所前(那覇市)集合、オーシャンビューイン希望ヶ丘(国頭郡恩納村)泊

5月17日(金) 平和行進1日目  
オーシャンビューイン希望ヶ丘泊

5月18日(土) 平和行進2日目  
夜はファイナルステージ(那覇市鏡原町33-6)で交流会、宿泊は各自手配

5月19日(日) 平和行進3日目  
沖縄県民大会(宜野湾市:宜野湾海浜公園屋外劇場)  
沖音協・日音協合同反省会

自宅から沖縄までの移動費用と5月18日の宿泊費、オプション行動の費用(詳細別途お知らせ)のほかに、沖縄行動共通経費としておひとり2,000円の負担をお願いいたします。日音協は、県内移動のためのレンタカー代等を負担します。

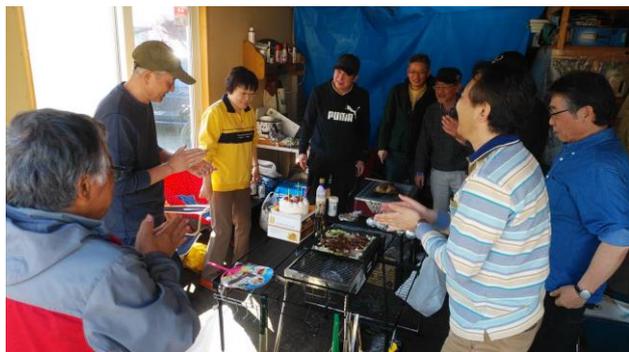


## 5月3日メーデー打ち上げ、お花見、還暦祝い 秋田音楽祭に14名、行くぞ

元号が変わり、憲法を守る決意を込めて「5・3憲法集会」に参加し、午後からは佐藤会長の自宅ガレージにて、メーデー演奏の打ち上げを行った。

桜も満開の気温20度。元年5月1日に還暦を迎えたブルトレ(ブルトレイン)の北山さんのお祝いもあり花見は最高潮。

秋田の祭典の参加者は14名となり、厚田(札幌から1時間ほど)の別荘で合宿をやって最高のパフォーマンスをやるぞ。と息巻いて日が落ちるまで酒と演奏は続いた。(磯野宏之)



## 第90回北海道メーデー 寒さの中 熱く演奏

4月24日には23度を記録した札幌。それが一転27日のメーデーの朝の気温は3度となり、前夜から降っていた雨は朝には白い物がちらほら。「なんまら(すごく)寒い」と参加者はみな厚着の服を装着大通り公園西8丁目広場には8000人が結集した。

公園では、ようやく咲き始めた桜の花が春の訪れを告げていて、少しは寒さを和らげてくれていた。

さて、90回を迎えた北海道メーデーだが、FMカンパニーはたぶん35年以上は演奏しているだろうか、今年のメンバーは9人、平均年齢63歳と(最年長はの場さん75歳)どう見ても、いや間違いなく「昭和おやじバンド」なのである。

9時から始まったオープニング演奏は「やさしい心を武器にして」「Aひろば」など9曲を30分歌い、さらにメーデー終了後11時からのデモ行進の送り出し演奏には「オンザロード」「すべての人に」など7曲20分を小雨の降るなか歌いきった。

今年はエレキギターも加わり「演奏に厚みが出ていた」と好評で、会場では演奏に合わせて体を揺らす参加者やスマホで録画する者、手を振って声援をかけてくれる若者もいて、「おやじバンド」は寒さも忘れて演奏した。(磯野宏之)

### 今後の主な日程

- 5/16~19 復帰47年(第42回)5・15(沖縄) 平和行進、日音協沖縄行動
- 5/27 第52回はたらくものの音楽祭・秋田県実行委員会(調整中)
- 6/1~2 全国代表者会議(東京)
- 6/30 千葉県支部ふれあいコンサート
- 9/15~16 はたらくものの音楽祭(秋田市)
- 9/22 イットクフェス2019
- 11月 日音協第55回定期総会

# 青空のもと「翼を下さい」「HEIWAの鐘」

## 「5・3憲法集会2019」に65000人



150人による大合唱



Rico &amp; Tatsu



ラブ・エロ・ピース

## 許すな! 安倍改憲発議

5月3日、東京都江東区の東京臨海防災公園で、「平和といのちと人権を! 5.3 憲法集会 2019 一許すな! 安倍改憲発議」が開催され、青空のもと、6万5千人が参加しました。集会は同実行委員会が主催。

日音協は、サブステージのひとつを日本のうたごえ全国協議会と合同で企画・運営し、また、メイン集会の終わりの合唱「翼をください」「HEIWAの鐘」の事務局を同協議会と合同で担いました。

「ライブステージ Human Rights × Human Lives」は、11時にあすなろさんの司会で開会。未来のための合唱、朝鮮中高級学校合唱部、京大PPM2.5(高山佳奈子&西牟田祐二)、ラブ・エロ・ピース、Rico & Tatsu、植田あゆみさん、ユキヒロさんが演奏。大熊啓さんによる「翼をください」「HEIWAの鐘」の合唱指導もありました。

メイン集会の合唱は、植田あゆみさんのステージに、日音協、日本のうたごえ全国協議会や集会実行委員会の呼びかけにこたえた150人の合唱団が加わり、「翼をください」の英語バージョン「Wings to Fly」(後半に日本語も)をうたいました。植田さんは、「『翼をください』のCD・ビデオ制作は100か国合唱をめざしたが、パレスチナの仲間はイスラエル人と一緒にうたっている姿が公開されると故郷で問題にされかねないなど、それぞれ故国に課題をかかえる仲間があり、44か国にとどまった。こういう事実を知らなければならない。次は100か国をめざしたい」と語りました。行動提起とデモ行進の指示に続いてユキヒロさんが加わり、3年連続となる「HEIWAの鐘」を集会参加者全体と一緒にうたいあげました。

集会后、日音協は未来のための合唱と一緒に、デモ行進に出発する参加者をうたで送り出しました。

(松本敏之)



未来のための合唱。右端は司会のあすなろさん



日音協の送り出し演奏

2019年9月15～16日に開催する「はたらくものの音楽祭秋田県祭典」の宿泊予約を取るのに大変に窮屈な状況になっています。

原因は秋田県出身のシンガーソングライターの高橋優主催の『秋田 CARAVAN MUSIC FES 2019』が9月14～15日の日程で開催されることによるものと思われます。

すでに、同じ宿泊施設で連泊を予約するのが難しい所もありますので、取り急ぎ予約するようお願いいたします。

## ■秋田県実行委員会について

秋田祭典への取り組みは、秋田県支部での2回の事務局会議を経て、実行委員会の立ち上げに向けて、連合秋田への要請行動や秋田県支部加盟労組オルグ、祭典会場の予約などを取り組みました。連合への要請では、秋田での祭典は2度目になり、連合会長の黒崎氏や事務局長の藤井氏からは前回の祭典でも協力をいただいていることもあって、日音協の音楽運動についての理解を得ることができました。昨年11月6日に連合秋田会長の黒崎保樹氏を実行委員長に選出し、第52回ははたらくものの音楽祭秋田県実行委員会を結成しました。

実行委員会では、はたらくものの音楽祭は全国の各支部や加盟労組の音楽サークルに所属している個人・サークル・バンドなどが一同に会して、それぞれが創作した演奏や演劇などに込められたメッセージを発信するイベントであること。そしてそれらの作品を共有し広める運動であることを了承していただきました。

また、当面の取り組みとして、実行委員会の実行委員会事務局の諮問機関として日音協秋田県支部メンバーによる企画会議を設置すること。大まかなスケジュールとして祭典記念CDの制作、ポスター・チラシの図案募集などを確認して具体的な活動に入りました。

## ■記念CD制作の取り組みについて

現在取り組んでいる活動についてですが、まず記念CDの制作です。収録曲は大嶋忠男さんのオリジナルを4曲、支部所属の個人と3ユニットで

4曲の8曲として、12月23日から隔週でいたい月2回のペースで4月28日まで行っています。

それぞれの曲のアレンジはできるだけオリジナルから半音から一度あげて、歌い慣れたものから少しだけ緊張感をもった音づくりに挑戦しています。今回の収録では、秋田県支部のエンジニアの藤原さんが収録機材を更新したことから、多重録音が可能になり、演奏とボーカルを別に録ったり、演奏を別々に録ったりと新しいことにチャレンジすることができるようになりました。が、音源の編集など藤原さんには新たな難儀をかけているところです。

演奏音源の収録は終わりましたが、音源の編集、CDジャケットのデザインや編集、CDをラジオのDJ風に編集することになっているので、DJの録音を5月中に収録を終える予定です。

## 一 祭典まで4ヶ月半 一

### ■今後の取り組みについて

4月28日に秋田県支部メンバー10名が参集し3回目の企画会議を開き、祭典までの4ヶ月半の取り組みについて打ち合わせをしました。

今後は、参議院選挙の動きを見ながらの活動になります。プログラムに掲載する広告の募集、祭典出場者の募集、祭典スタッフの募集、一般参加者（オーディエンス）への周知と集約、秋田県支部企画の出演者募集、オープニングの企画、秋田県支部の活動を紹介するコーナーの検討等たくさんハードルが待ち受けていますが、まずは宣伝物を作りあげることが急務になっています。

第2回目の実行委員会を5月27日に開催することで、連合秋田と調整をすることになりましたので、日音協秋田加盟労組などからマンパワーをいただき、たくさんの方が音楽運動につながってくれるように取り組んでいきたいと考えています。

全国のみなさん。現地実行委員会はとにかく楽しく頑張っています。是非とも、新しい作品と楽しい演奏を携えて秋田にやって来てください。お待ちしております。

(秋田・後藤雅裕)



はたらくものの音楽祭 in AKITA より

緊急告知！「はたらく」参加予定の皆様へは「宿泊先の確保を早くしてください！」

# 歌の方が物語るもの 77

## 官邸前反原発行動 4/12 (341回) 報告 Rico

参加者 葉子、スーさん、スーさんのお友達、鈴木、達哉、未来のための合唱の仲間、森、計7名

スーさんが辺野古ゲート前で歌われている『ジンギスカン』の替え歌の歌詞カードを持ってきていた。「これ、もらっただけで、曲がよくわからないんだよね」と。この歌は、辺野古に通っているたんぼぼ舎の山田さんのお気に入り。みんな歌いたくて紹介してくれたのだが、長さもあり、なかなか歌いきれない。「シン、シン、ジンギスカン、羊も旨いが沖縄山羊汁:」などあそび心も満載ながら、「き、き、機動隊、何が楽しい、排除・拘束:」と辛らつな詞も続く。辺野古ゲ

# 水道橋だより

▼「5月のはじめ」と掛けて「飛騨高山の街並み」と解きます。そのココロは「キュウカが並んでいます。」(飯島)

▼604号は、10連休中(休めない方もいると思いますが)なので、5月5日配信とさせていただきます。▼元号については様々な考えがありますが、音楽運動は、今まで通り西暦表記とします。▼「今後の音楽祭について」、音楽祭を開催した富山と、音楽祭取り組み中の秋田から意見書が報告されています。明日の幹事会でも検討し、6月1日~2日の全国代表者会議でも継続して知恵を出していきたいと思ひます。(佐藤)

▼5月4日、憲法フォークジャンボリーin彩の国2019に行ってきました。Rico & Tatsu、狭石啓子がうた、演奏、演劇、講談、朗読。▼5月3日、5.3 憲法集会のデモ行進送り出し演奏に、都内のライブハウスなどで活動する田さりをりさんがギターで参加。そのまま菜葉坂にも参加した。詳しくは次号にて。(松本)

いつもの太陽のような顔をちよっと曇らせて森さんが到着したのは『あたりまえの地球』の途中でした。ピアノ力を吹いてくださって、やっと私にパートナーができました。そして

1ト前歌集に載っていて、私も好きな曲(ちなみに、この『辺野古ゲート前歌集』には我ら反原発うたいたいの替え歌の女王、加本さんの作品『ふるさと沖縄』が掲載されている。すこいでしよう)。なのでしばらくアコを弾きながら『ジンギスカン』を歌っていた。没頭していたら「遅れます」とメールをくれた鈴木さんが到着。おっといけない、反原発の時間でした。『あたりまえの地球』『そんな世界が一番』:歌っている、自転車隊が手をふって通り過ぎていく。クッキー坊やの家族が今夜も正門前に向かう。子どもたちは元気に走っていく。お兄ちゃんももう『坊や』とは言えないな。妹ちゃんも足が速

## 4/26 (343回)

参加者 達哉、民衆の歌の仲間、森、よっこ 報告・よっこ 計4名 (前略)

いつもの場所にもどって、『お見送りの歌』を歌って、まだ少し時間があつたので、『ジンギスカン/ゲート前バージョン』を歌いました。私はこの曲を YouTuber ですと聴いて練習していたので歌えて嬉しかったです。達也君も、もどってきて『月桃』を歌いこの日の行動を終えました。

とここで「人々は今の社会にもっと怒り、そしてその怒りをもっと表さなければならぬ」ということは、皆さんの思うところでしょう。1機116億円のF35を147機買つんだと！ 福島県が打ち切った区域外避難者への住宅支援が80億円。2018年度に支給した給付型奨学金がわずか105億円。税金の使われ方が根本的に間違っています。武器の爆買いするな！ 沖縄に新基地つくるな！ 避難者を路頭に迷わせて、また、生活に困窮している人々を捨て置いて、なにが復興五輪だ！ なにが即位の礼だ！ 私達は怒っている。怒っているから歌う。『わたしたちは許さない』を、『民衆の歌』を、『ケ・セラ』を。歌と仲間には癒されながらね。

# どん行

(118)

飯島貞親

側近から消費増税の延期論まで開始した。選挙対策が見え見えだがちよっと露骨すぎない？

▼東京電力が起こした福島原発事故の後始末を、外国人の下請け労働者にやらせようという計画が浮上している。核燃料が溶け落ちた原発構内で最も懸念されるのが従事者の被曝であり、防止策は徹底されるのか、日本語が意思疎通の壁にならないか、具体策は見えないままで。▼福島原発では、800程度の企業が廃炉作業などに従事し、除染作業にはさらに何百もの企業が加わるという過去に例のない大掛かりな事故処理が続いている。現場の下請け作業者は慢性的に不足しており、あっせん業者が生活困窮者をかき集めて人員を補充し賃金をピンハネするケースも少なくない。福島原発の廃炉・除染現場では、数十年に及び原発労働者への不当行為が改善されるどころか、より大規模に繰り返されている可能性があることが、作業員や雇用主・行政・企業関係者への取材で明らかになっている。とんだ復興五輪だ。▼その五輪のチケットが販売されるそうだが、とんでもない金額が報道されている。多額の税金を投入したお祭り騒ぎは、天皇即位とともに五輪もからんで納税するのが馬鹿馬鹿しくなる。▼そんな庶民のフトコロ具合を見透かしたかのように首相